

クラブ[♫]だより。



ホンダ・フライング・クラブ

◎ホンダ杯争奪クラブ大会結果

11月3日なごやかな雰囲気の中で総勢35名のクラブ員の人達によってホンダ杯が競われました。年々みなさんの技量が向上し、安全かつ激的な競技内容になってきたと言うのが終了後の思いです。

これからもますます努力致しますので来年もみなさんがんばって下さい。

ホンダ杯 優 賞…中山 征 雄 氏 (ホンダ・ゴリラ)

準優賞…村 石 保 氏 (ホンダ発電キ)

3 位…田 口 吉 郎 氏 (ロードバル)

4 位…大 江 和 生 氏 (パイロットカバン)

5 位…太 田 昭 治 氏 (日本人形)

◎日本新記録

ホンダ・フライング・クラブより出る

- ・ホンダ・フライング・クラブの名ライセンスー大江和生氏がS53年11月21日すばらしいアイデアーと万全の準備のもと、見事日本新記録を達成しました。

数週間前より機長として完璧に近い準備と判断力により天候、機体、心身共にすべてベストコンディションでのぞんだ事は我々パイロットにとって良き見本となるでしょう。

みなさまにかわりお疲れさま、そしてほんとうにおめでとうございますと言わせてもらいます。

連続離着陸最長時間最多回数新記録

大江和生氏 JA3556

飛行時間 09:57~15:37まで

5時間40分

着陸回数

60回(ノーフラップ ランディング)

- ・だれか挑戦する方はいませんか？

35号の目標

目と耳で安全確保，良い飛行

安全運行係

※ 新入会員の方です。よろしく。

No	1422	稲葉 一昭 さん	浦和市	会社員	S4
	1423	関口 玲子 さん	浦和市	"	S28
	1424	安藤 善之 さん	狛江市	"	S28
	1425	高山 泉 さん	村山市	"	S23
	1426	飯塚 高司 さん	川崎市	"	S32
	1427	山内 明善 さん	狭山市	歯科医	S24
	1428	大森 康雄 さん	府中市	自 営	S29
	1429	庭田 善昭 さん	群馬県	会社員	S34
	1430	大浜 信昭 さん	府中市	医 師	S6
	1431	荒木 栄 さん	千葉県	教 員	S15
	1432	川島 章司 さん	群馬県	会社役員	S2

※ 実地試験合格おめでとう。

内 河 邦 夫 さん	JA3768	S53. 10. 25
山 村 明 延 さん	JA3404	S53. 11. 1

※ 単独飛行おめでとう。

平 峰 信 則 さん	J A 3 2 4 4	S 5 3. 1 0. 2 2
新 井 順 一 さん	J A 3 5 5 6	S 5 3. 1 0. 2 5
渡 辺 忠 夫 さん	J A 3 3 4 7	S 5 3. 1 1. 1 0
井 上 良 典 さん	J A 3 2 4 4	S 5 3. 1 1. 2 1
南 次 郎 さん	J A 3 3 4 7	S 5 3. 1 1. 2 6

※ 次の方，練習許可書を準備しましょう。

小田木 文 雄 さん	S 5 4. 1. 9	まで
伊 藤 享 さん	" 1. 9	まで
山 本 一 夫 さん	" 1. 9	まで
宇佐美 裕 康 さん	" 1. 9	まで
広 瀬 宗 夫 さん	" 1. 9	まで
藤 野 輝 之 さん	" 1. 9	まで
土 屋 毅 さん	" 1. 1 9	まで
松 原 享 さん	" 1. 1 9	まで
荻 野 正 秀 さん	" 1. 2 6	まで
長 瀬 武 憲 さん	" 1. 1 9	まで
油 本 寿 博 さん	" 1. 1 9	まで
村 山 鉄 雄 さん	" 1. 2 6	まで
青 柳 清 さん	" 2. 2	まで
内 田 正 行 さん	" 2. 1 3	まで
森 外 志 さん	" 2. 2 3	まで
関 根 教 正 さん	" 2. 2 3	まで
小野寺 伸 之 さん	" 2. 2 3	まで

※ 次の方練習許可書がきております。

・荒木 栄 さん

・前田 正明 さん

・中田 信一 さん

・石井 源真 さん

・稲村 正樹 さん

・斉藤 亨 さん

・小沢 和夫 さん

・今田 吉光 さん

・加藤 弥太郎 さん

・須藤 実 さん

・千田 亮澄 さん

・大辺 駿一 さん

・大川 哲郎 さん

・植竹 又三郎 さん

・亀田 寿和 さん

・原田 守 さん

・飯島 親明 さん

・関 隆司 さん

◎講 習 会 予 定

(桶 川)

月・日	課 目	月・日	課 目
1月 9日(火)	口頭質問 (3)	2月 2日(金)	航空工学 (4)
12日(金)	航空工学 (3)	6日(火)	口頭質問 (1)
17日(水)	航 法 (1)	8日(木)	計器飛行 (4)
19日(金)	計器飛行 (3)	10日(土)	航 法 (3)
23日(火)	航空通信 (2)	14日(水)	航空通信 (3)
25日(木)	航 空 法 (4)	16日(金)	航 空 法 (1)
27日(土)	空中操作 (1)	19日(月)	気 象 (4)
29日(月)	航 法 (2)	21日(水)	空中操作 (2)
21日(水)	気 象 (3)	23日(金)	航 法 (4)
		27日(火)	口頭質問 (2)

(調 布)

月・日	課 目	月・日	課 目
1月 5日(金)	航 法 (2)	2月 2日(金)	気 象 (3)
12日(金)	気 象 (2)	8日(木)	航 空 法 (2)
17日(水)	通 信 (3)	16日(金)	口頭質問 (2)
19日(金)	計器飛行 (2)	21日(水)	航 法 (3)
31日(水)	工 学 (4)	23日(金)	計器飛行 (3)
		27日(火)	工 学 (1)

時間 18:00～21:00まで

※ 次回学科予定

自家用学科……………S 5 4.3

(受付1月中旬まで)

航空級……………S 5 4.8

特殊無線(丙)…S 5 4.6

• これからいよいよ寒さきびしい冬に入り、それと共に風も強くなってきます。
そこで今回はタービュランス（乱気流）について簡単に説明します。

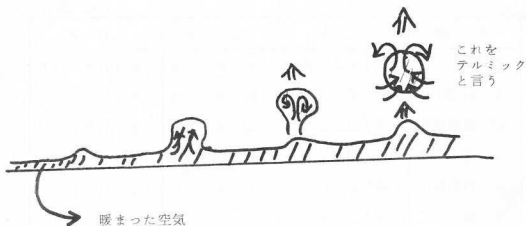
• 乱気流は複雑な形で大気中に存在しますが、成因によって分類すると

- ① 対流性のタービュランス
- ② 地形性のタービュランス
- ③ ウィンドシアー性のタービュランス
- ④ 晴天乱気流、航跡乱気流

これらについてVFR（有視界飛行）で飛んでいる場合、知っているとは判断の
良い材料になりそうなものを書いておきます。

① 対流性によるもの

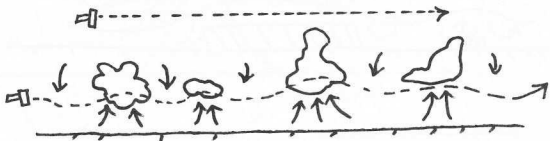
（原理）



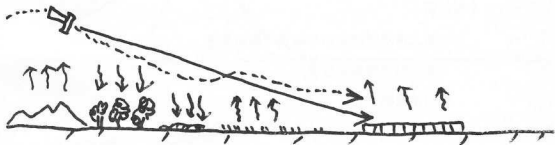
(具体例)

・積雲形の雲が発生していると下記のようなになる。

もし空気が乾燥していれば雲が存在しなくてもタービュランスはある。



・着陸進入中には次のようになりやすい。



○上昇気流になりやすい場所

- ・山岳
- ・休んでいる畑, 田
- ・道路
- ・街
- ・砂地 等

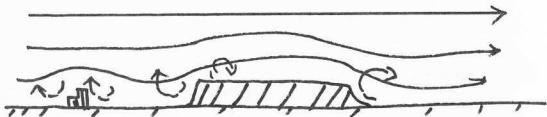
○下降気流になりやすい場所

- ・湖
- ・川の上
- ・林, 森
- ・麦畑 等

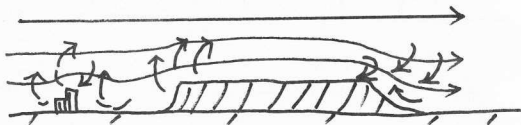
② 地形性によるもの

(原理)

・ 風が弱い時

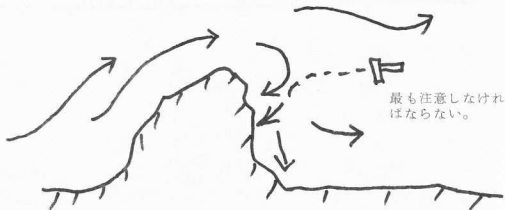


・ 風が強い時

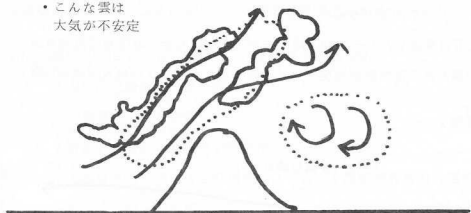


(具体例)

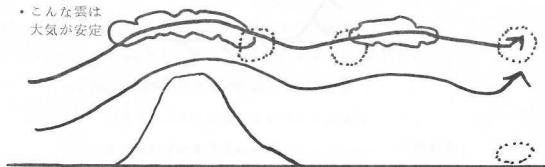
- 地上滑走中のまわりの建て物の影響
- 進入中の地形の影響
- 山岳地帯



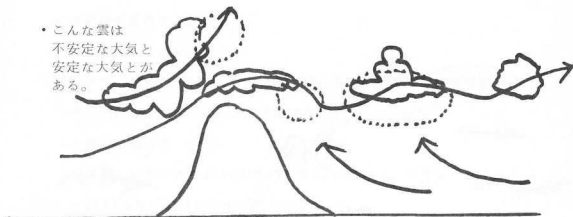
- こんな雲は
大気が不安定



- こんな雲は
大気が安定



- こんな雲は
不安定な大気と
安定な大気とが
ある。

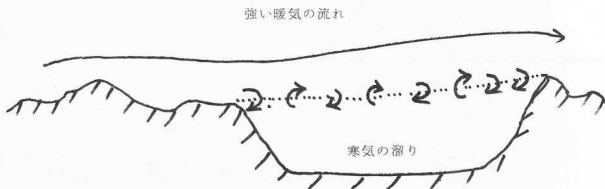


① → ○ タービュランスのある空域

③ ウィンドシアーによるもの

- 上下に接近したレベル間又は同一レベルの隣り合った区域で風向風速が異なると乱気流が発生する。これをウィンドシアー性乱気流という。

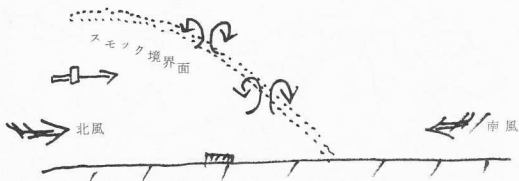
(原理)



境界面にウィンドシアーの乱気流ができる。

(具体例)

- 訓練空域で時々風向風速が極端に変っている場合があり、それがスモッグの境界面である事が多い。



。最後にタービュランスの起りやすい場所を揚げておきます。

(1) 弱いタービュランスが起る。(5 ~ 20 feet/s)

- 山岳、丘陵地帯で風の弱い時
- 小積雲の中とその近辺
- 暖かい地面から雲のない対流中
- 上空の気圧の谷、上空の低気圧、ジェット気流圏界面の付近での弱いウインドシアの中
- 5000 フィート以下の風速が 15 KTS に近い時又は気温が地表面より低い時の大気中

(2) 並のタービュランスが起る。(20 ~ 35 feet/s)

- 山岳地帯において、山脈のレベルで山脈に直角な風の分力が 20 ~ 50 KTS あるときの下記の空域。

山頂のレベルより 5000 フィート以内

圏界面直下の安定層の底

圏界面の中

山脈の風下側 150 ~ 300 マイルの区域

- 衰弱期の雷雲の中及び付近
- 塔状雲の中及び付近
- 風速が 25 KTS をこえる時、地表面の加熱が著しい時、冷気が侵入する時の 5000 フィート以下の大気
- 上空の前線の中
- 垂直ウインドシアが 6KTS/1000 feet 以上、水平ウインドシアが 18KTS/150 マイル以上の空域

- (3) VFRの飛行においては強いタービュランス(35~50 feet/s)や強烈なタービュランス(50 feet/s以上)に会う事は安全飛行に努めていけば率は少ないと思います。

しかし、山岳地帯で山脈に直角な風の分力が50 KTSをこえる時や孤峯の風下側で山頂高度付近にある強烈な渦流中、ROTOR雲の中及びその付近、雷雲の中及びその付近を飛行すればこのようなタービュランスに会う可能性もあるので、充分注意しなければならない。

☆クラブだよりにのせてもらいたい事や要望がありましたら、どしどし申し付けて下さい。お待ちしております。

